

事業コード	H16-建-新-5			区分	国庫補助・県単独
事業名	特定交通安全施設等整備事業			部局名	建設交通部
事業種別	歩道等			課室班名	道路環境課 道路環境推進班 (tel) 2488
路線名等	一般国道105号			担当課長名	虻川 憲悦
箇所名	鷹巣町七日市			担当者名	大森 郁夫
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	3	施策名	交通安全や地域安全対策の推進	
	目標コード	2	施策目標名	交通安全施設の整備(歩道等整備率)	

1. 事業の概要

事業期間	H17~H20(4年)	総事業費	3億円	国庫補助率	5/10		
事業規模	延長L=1,500m、幅員w=10.5(1.0-6.0-1.0-2.5)						
事業の立案に至る背景	<p>国道105号は本荘市を起点とし鷹巣町に至る幹線道路である。また当路線は県南地方と県北地方を結ぶ重要な路線となっており自動車交通量が多い路線である。当該区域は国道285号、主要国道7号を結ぶ国道105号、空港アクセス道南北線など主要道路が集結する地点に位置しており、大館能代空港の開港により急激に交通量が増加し、これに伴い事故も多発している。</p> <p>このことから平成17年度より歩道の整備に着手し、安全かつ快適な歩行空間の確保を図るものである。</p>						
事業目的	交通安全施設の整備により、事故の減少、交通の安全を確保し、交通環境の改善を図る。						
事業費内訳	(単位:千円)						
事業内容		全体	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度以降	
	事業費	300,000	50,000	100,000	100,000	50,000	
	経費内訳	工事費	71,000		12,000	12,000	47,000
		用補費	213,000	45,000	84,000	84,000	
		その他	16,000	5,000	4,000	4,000	3,000
	財源内訳	国庫補助	150,000	25,000	50,000	50,000	25,000
		県債	60,000	10,000	20,000	20,000	10,000
その他							
事業内容	90,000	15,000	30,000	30,000	15,000		
事業内容		詳細設計 用地補償	用地補償 歩道工	用地補償 歩道工	歩道工		
調査経緯							
上位計画での位置付け	総合計画における施策「交通安全や地域安全対策の推進」を支援する事業						
関連プロジェクト等							
事業を取り巻く情勢の変化	<p>当該区間は近年、事故が多発しており、道路利用者にとって危険な状態にある。</p> <p>事故件数H9:1件 H10:3件 H11:2件 H12:3件 H13:2件</p> <p>行政懇談会でも取りあげられた箇所であり、地元住民からも歩道の設置及び拡幅が強く望まれている。</p>						
事業効果把握の手法	指標名	歩道等整備率			データ等の出典	交通安全施設現況調査	
	指標の種類	成果指標 業績指標			把握の時期		
	指標式	歩道整備済延長/県道路延長					
	目標値 a	40.5%					
	実績値 b	32.7%					
達成率 b/a	80.7%			平成14年3月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	12時間自動車交通量が9,487台と交通量が多く、学童・園児数が54人で毎年事故が発生している。 また通学路指定区域であり早急な歩道設置が必要である。	15点
緊 急 性	本路線は、交通安全指定道路になっており交通安全上の重要路線である。 毎年、事故が発生している。	10点
有 効 性	事業が実施されることにより歩行者と車が分離され歩行者の安全性が向上する。	20点
効 率 性	事故状況も過去5年間の事故件数が11件もある。	25点
熟 度	行政懇談会でも取りあげられた箇所であり、地元住民から強い要望がある。	20点
判 定	ランク（ ○ ） 全観点で高い得点となっており、交通事故を軽減し、生活の安全と地域の振興を図ることも有効な事業箇所であり、実施すべきと考える。	90点
総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。</p>	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	<p>大館能代空港の開港により交通量が急激に増加しており、これに伴い交通事故も毎年発生している。このため、歩道を整備するなどして学童等の安全を確保しようとするものであり、事業実施は妥当と考えるが、その実施にあたっては、当該路線の全てを整備対象とするのではなく、学童等の動線に沿った整備とするなど、必要最小限にとどめるべきである。</p>

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	<p>住民の安全確保対策として事業の必要性は認められるが、歩道の整備については安全確保対策と併せ、必要最小限度において行うよう検討すべきものと考えらる。</p>

5. 最終評価（新規箇所選定会議）

総合評価	選定 改善して選定 保留
	<p>事業実施は妥当である。</p>

6. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所を、計画規模を見直し、国に新規要望する。 ・事業実施に当たっては、コスト縮減に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の評価および対応方針を妥当とする。</p>

公共事業箇所評価基準

評価種別 **新規箇所** ・ 継続箇所 事業コード (H16 - 建 - 新 - 5) 箇所名 (七日市)

適用事業名 **特定交通安全施設等整備事業**

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の利用状況				
	12時間自動車交通量	1,000台/日以上	5	5	通学路以外の場合
		1,000台/日未満	0		
		500台/日以上	5		
		500台/日未満	0		
	歩行者交通量	100人/日以上	5	5	通学路以外の場合
		100人/日未満	0		
		学童・園児 40人/日以上	5		
		学童・園児 40人/日未満	0		
	歩道の連続性	計画区間前後に歩道あり	5	0	概ね500m以内
		計画区間前後に歩道なし	0		
	歩行者・自転車交通量	150人台以上	5	0	
		150人台未満	0		
道路幅員	車道幅員(路肩含む)5.5m以上	5	5	一方通行の場合3.5m以上	
	車道幅員(路肩含む)5.5m未満	0			
計			25	15	
緊急性	交通安全指定道路	指定あり	10	10	
		指定なし	0		
	計				
有効性	歩行者等の安全性向上	あり	20	20	
		なし	0		
	計				
効率性	事故状況(過去5箇年)	6件以上	25	25	
		1~5件	15		
		なし	0		
	計				
塾 度	地元ニーズ	文書要望あり	20	20	
		口頭要望あり	10		
		要望なし	0		
	計				
合 計			100	90	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	合計点	摘 要
	優先度がかなり高い	80点以上	90	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	80点未満		